

令和7年度 社会福祉法人才アシス俱楽部の介護職員等処遇改善加算等に関する情報公開について

職場環境改善の取組みについて

	算定要件	法人の取組み
入職促進に向けた取り組み	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	主婦層の方や中高年齢者の方々が働きやすいよう個々の希望労働時間に沿うべく、個人に対応した勤務時間を設定している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	地域中学生の職場体験の受入れや、教育職員免許法の特例に基づく「介護等体験」事業の体験希望学生（大学生）の受入れを行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指すものに対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士資格は、試験対策を先輩職員がサポートを行い、試験日は勤務扱いとし、会場までの交通費（JR代）を法人が補助している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課の連動	認知症介護実践者研修を受講することで、人事考課、能力考課において高い評価を与える。
両立支援の方・多様な働き	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	仕事と育児の両立に向けて、産前産後休暇・育児休業の取りやすい職場環境づくりを積極的に行っている。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声掛けを行っている	いつでも有給休暇がとれるよう、取得目標は新しく付与された日数とし、柔軟なシフト対応を行っている。休暇の届出用紙をタイムカード付近に設置し、記入しやすくなっている。

腰痛を含む心理身の健	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	リフトを使った入浴介助の研修と実施、腰痛予防のための指導を行っている。新入社員には、安全で腰に負担のかからない移乗を先輩が教えている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故・トラブルへの対応マニュアルを整備している。
生産性向上のための業務改善の取組み	現場の課題見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	課題の抽出をし、業務改善したものについて時間調査を行っている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	見守り支援として「安心ひつじ」というセンサー介護機器を取り入れて夜間介護の負担軽減に繋げている。他、デイサービス・グループホームともに介護リフトを使用している。
	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベットメイキング、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。	中高年齢の方に補助職員として昼寝の布団敷きやお茶出し、清掃、ゴミ捨て等を担って頂き、介護職員の業務軽減に取り組んでいる。
やがりいがのい醸成働き	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	日々のミーティングにおいて、気づいたことを仲間や主任と相談し、すぐに改善して試みるようにしている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	家族からの謝意があれば、朝礼等で報告し、手紙は回覧等で全員で共有している。